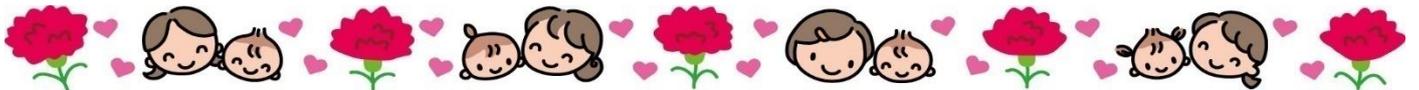




R6. 5. 1

太陽の光を浴びて新緑の葉がまぶしく輝き、戸外でも気持ちよく過ごせる季節となりました。

ふじぐみになってから一か月がたち、少し不安そうに過ごしていた子どもたちですが、保育者や友だちと生活をしたり遊んでいくうちにだんだんと慣れてきました。四月当初はなかなか集まることが出来なかったり、保育者が話をしている時にあちらこちらでおしゃべりをしていたり、自分の思いで勝手に行動してしまうなどの姿が見られていました。4歳児になり集団生活をしていくうえで話を聞いていないと楽しいことが出来ないことを伝え、クラスで話を聞く時の約束をしました。1、話をしている人の目を見る。2、お口チャック(口を閉じて話を聞く)3、耳ダンボ(耳を傾けて聞く)を毎日繰り返し伝え、話を聞くことができるようにしてきました。すると、少しずつですが話を聞こうとするようになってきて「集まるよ」「お話ししないよ」などと子どもたち同士で伝え合う姿も見られるようになりメリハリが出てきました。今後もなぜ話を聞かなければいけないのかなど、生活に必要な決まりやルールをみんなで考えながら過ごしていきたいと思います。



<今月のねらい>

友だちや保育者と集団遊びを楽しんでいく。

<活動内容>

- 体育指導 ・コーディネーショントレーニング ・散歩（徳石公園、石川橋公園など）
- 集団遊び（椅子取りゲーム、フルーツバスケット、氷鬼など）



子どもにリュックを持たせずに登園している姿が見られます。自分の持ち物を自分で管理していく習慣を付けていくために、園では子ども達に自分で荷物を持つように声を掛けています。保護者の方もお子様に自分の荷物は、自分で持つように声をかけていただくようにご協力お願い致します。

